

産地戦略

実施期間 令和4～5年度

実施主体 いしのまきグリーンな農業推進協議会協議会
都道府県 宮城県
対象地域 石巻市、東松島市
対象品目 水稲



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

大規模土地利用型法人における経営面積の拡大や担い手の減少による労働力不足を補うため、省力化技術としての乾田直播栽培の面積を拡大する。また、耕畜連携により積極的な堆肥施用を行い、地域資源の循環を促進しながら地力の増進を図る。さらに、土壌診断により減肥栽培が可能な場合は、化学肥料を低減した低コスト栽培を実践し、環境負荷を低減した持続可能な水田農業を確立する。

グリーンな栽培体系 栽培マニュアルに記載の通り

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R10	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	7090	▶ 6000	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	46	▶ 116	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	化学肥料のみの施肥	▶ 堆肥による土作り	堆肥施用による化学肥料使用量10%程度の低減効果が見込まれる。
省力	育苗と代掻きが必要な移植栽培	▶ 乾田直播栽培（東北農研方式：高速播種鎮圧体系）による省力化	育苗管理作業と代かき作業が省略されることにより作業時間が削減され、作業の効率化や規模拡大が期待される。

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	堆肥施用による化学肥料の使用量低減率	0	▶ ▲10%	▲10%削減

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

令和6年から令和7年度にかけて、宮城県（石巻農業改良普及センター）とJAいしのまき営農部が中心となり、策定した産地戦略と栽培マニュアルをもとにグリーンな栽培体系を生産者や生産法人に周知する。生産者・生産法人は、関係機関の支援の下、土壌診断を実施し、堆肥活用が可能な地域から減肥・乾田直播種栽培の実践する。令和8年から令和10年度は、より広域的な地域で堆肥施用による土づくりを行い、グリーンな栽培体系の普及を図る。

関係者の役割

関係者名	宮城県 （普及組織：石巻農業改良普及センター）	JAいしのまき営農部	生産者・生産法人 （JAいしのまき稲作部会を含む管内農業者）	
役割	・乾田直播栽培の栽培指導 ・土壌分析・施肥設計支援 ・堆肥活用の支援 ・グリーンな栽培体系周知	・作業日誌による耕種概要の確認 ・直播栽培研修会の開催 ・堆肥活用の支援 ・グリーンな栽培体系周知	・堆肥活用が可能な地域から堆肥施用 ・可能な地域から減肥・乾田直播種栽培の実践	

その他